

～都島ミライMEETING参加者の皆さんと～



区民の皆さんと対話を重ねて...

Vol.2では、「都島ミライMEETING」のレポートやキーパーソンへのインタビュー、そして「京橋にぎわいマルシェ」の実施報告をお届けします。実際に区民の皆さんとお話する中で、改めて都島区というまちの持つ魅力やあたたかさを実感しています。

この記事を通して、その魅力の一端を皆さんにも感じ取っていただけたら嬉しいです。

都島区まちづくりビジョン2040って？

2040年を目標に、「どんなまちを目指すのか」「どんなことに取り組んでいくのか」をまとめたものです。まちのこれからの変化を見据えながら、新しい魅力やイメージをみんなで育てていくためのビジョンです。

REPORT

「都島ミライMEETING」を開催しました！

11月15日（土）、区内2か所で「都島ミライMEETING」を開催しました。当日は、参加者の皆さんと一緒に都島区のまちの写真をしながら、「こんな場所がもっと増えてほしい」「ここでこんなことをしてみたい」といったアイデアを出し合い、2040年の都島区で実現したい未来の姿について語り合いました。

Work & Study CUBE都島店では、「にぎわい」をテーマにした意見が多く、特に桜通商店街の活用について話が盛り上がりました。商店街の落ち着いた雰囲気や多国籍な飲食店が並ぶ特徴を活かし、キャンドルナイトや商店街全力ダッシュ、アフター万博といったイベントを開催してみたいという声が上がりました。

わんだ〜らぼ都島では、子育てや学びをテーマにした意見が多く寄せられました。子連れでも入りやすいお店や、気軽に相談できる場所（ママ向けの駆け込み寺など）、学校では得られない体験ができる学びの場（自然学習やPBLなど）があると、地域のつながりが深まり、もっと暮らしやすいまちになるのではという声が聞かれました。

11月29日（土）開催分は次号でご報告します！



INTERVIEW まちのキーパーソンインタビュー

No. 04 | 都島チャンネルさん



清水 明日香さん、箱田 成司さん | PROFILE
清水氏が歌声サロンの活動を広げる中で箱田氏と出会い、2021年に「都島チャンネル」を開設。2024年には区役所後援も得て文化フェスを実施するなど、地域のつながりを育む媒体として活動の幅を広げている。

地域の人との出会いが広がり、まちの出来事や人々の想いを発信する“地域のハブ”に

都島の素敵な人、場所、モノをつなぐ

清水さん：都島チャンネルは、都島の素敵な人、場所、モノを音楽を交えながら紹介するYouTubeチャンネルです。社会福祉協議会のイベントで箱田さんと出会い、シニアの方と一緒に歌う「歌声サロン」や区内で「つなぐうた」というライブを始めたことが活動のきっかけです。チャンネルを通じて、世代や立場を超えた地域の人との出会いが広がって、まちの出来事や「何かやろうかな」という人々の想いを発信する“地域のハブ”になりつつあります。

「やりたい！」を応援するまちへ

清水さん：自分たちが活動をしていることで、地域で何かをやりたいと思っている人に、何かを一緒にできるかなと思ってもらえるような環境をつくりたいと考えます。

箱田さん：カフェや商店など、思いのある場所と人がゆるやかにつながり、小さな活動がまちの活力になっているのが都島の魅力だと思います。都島チャンネルでの活動を通じて、地域と企業、行政と一緒に動くきっかけづくりにも挑戦しています。

ママ記者によるお店取材や企業と連携した謎解きイベント、SDGsマルシェなどを通して、誰もが気軽に参加できる場づくりを続けています

「見てもらえない」から始まった地域発信

地域メディア「ドットコムおおさか」を立ち上げたきっかけは、夫の靴修理店のホームページを作ったことでした。その結果全国から注文が来た一方で、地元・都島の人には届いていない状況でした。そんな気づきから、地域の情報発信を始めました。SNSがまだ普及していなかった当時、ママ同士のつながりを活かして活動を広げ、ママ友を作ることを目的とした会を実施したところ、都島区民に活動を見てもらえるようになりました。今では広告制作やイベント企画、レンタルスペース運営など、まちの暮らしを支える多彩な取り組みを展開しています。

地域の人が主役になれる仕組みづくり

大切にしていることは、「地域の人が主役になれる仕組み」です。ママ記者によるお店取材や企業と連携した謎解きイベント、SDGsマルシェなどを通して、誰もが気軽に参加できる場づくりを続けています。活動を通じて、子育て中のママたちが社会復帰を目指すことを応援したいと考えています。

No. 05 | 柳生 久理子さん



柳生 久理子さん | PROFILE
都島生まれ・都島育ち。2008年にNPO法人mamaコムを設立し、2016年には株式会社ドットコムホールディングスを設立。現在、NPO法人は別の代表理事のもとで活動を存続中。

No.

06 | 岸田 晋平 さん



岸田 晋平 さん | PROFILE

大阪青年会議所で6年活動・理事を務め、地元で桜通りフェスを企画。現在は桜通商店街組合長としてまちづくりに尽力。

「若い世代や子どもたちが自分のまちに誇りを持てるように」

学生や地域の人と協力して商店街に再び灯を

大阪青年会議所でまちづくりを学び、地元・都島への思いを形にしようと動き出しました。きっかけは、桜通商店街が都島駅のすぐそばという一等地にありながら、活気のないことを以前から「もったいない」と感じていたことにあります。昨年、学生や地域の人と協力して開催した「桜通りフェス」では、参加者にまちづくりの担い手であることを実感してもらうことを目指し、結果的に多くの来場者が訪れ、商店街がにぎわいました。

「若い世代や子どもたちが自分のまちに誇りを持てるように」—そんな思いで、今年も活動を始めています。

“寝に帰るまち”から、“集うまち”へ

都島の中で人とお金が循環するまちづくりを目指しています。桜通商店街では、空き物件の活用やPR不足といった課題に向かいながら、イベントやスタンプラリーを通じて「地元で買う」「また来たくなる」仕組みづくりに取り組んでいます。地元の人も、外から来る人も楽しめる“裏都島”のような場所になればおもしろいと思います。

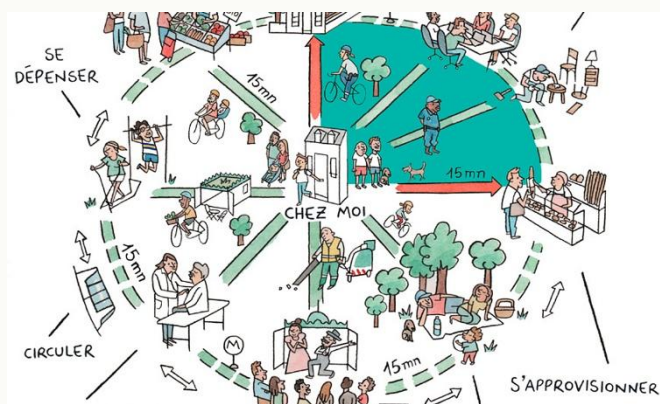
COLUMN

15分都市とは？ ～世界のトレンドをみてみよう～

世界的に注目を得る15分都市の考え方

近年、フランス・パリで生まれた「15分都市」という考え方が、まちの魅力や価値を測る新しい指標として注目されています。これは、「生活・仕事・買い物・医療・教育・自己啓発」の6つの機能が、徒歩や自転車ですぐに届くかどうかで、まちの暮らしやすさを見つめ直すというものです。

この「15分都市」の考え方は、日々の生活を便利にするだけでなく、環境にもやさしい、持続可能なまちづくりの新しいモデルとして世界各地に広がっています。

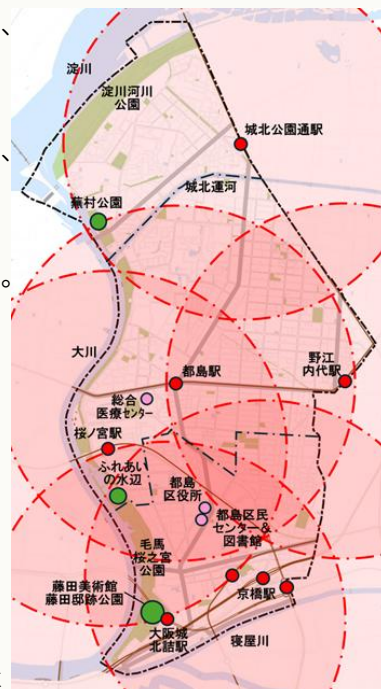


出典：パリ市ホームページ

実際に都島区ではどうなの...？

都島区は、鉄道駅から徒歩や自転車で15分圏内に移動できるエリアがほとんどを占めており、アクセスの良さと暮らしやすさが魅力のまちです。

さらにこのまちには、大川沿いの豊かな緑や、昔ながらのご近所づきあいといった、距離だけでは測れない人のつながりの“近さ”も息づいています。そしてこれからの時代は、情報技術の発達によって、誰もが必要な情報に手を伸ばせる“情報の近さ”も大切になっていきます。



※徒歩 1分80mで計算

REPORT

「京橋にぎわいマルシェ」で京橋公園が滞在の場所に！

10月12日（日）に「京橋にぎわいマルシェ」が開催されました。当日は、マルシェ、キッチンカー、スタジオブースなどが行われ、雨にもかかわらず多くの来訪者で賑わいました。たくさんのご来場ありがとうございました！

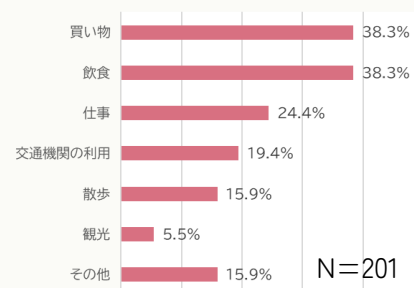
買って、食べて、歩いて

今回実施したアンケート（紙・Web合わせて201件の回答）では、京橋を訪れる目的（図1）として、たくさんの人が「交通機関の利用」（19.4%）よりも、「買い物」（38.3%）や「飲食」（38.3%）と回答しました。休日に行った調査ということもありますが、京橋には意外にも、買い物や食事、散歩などを楽しむために訪れる人がたくさんいることが分かりました！

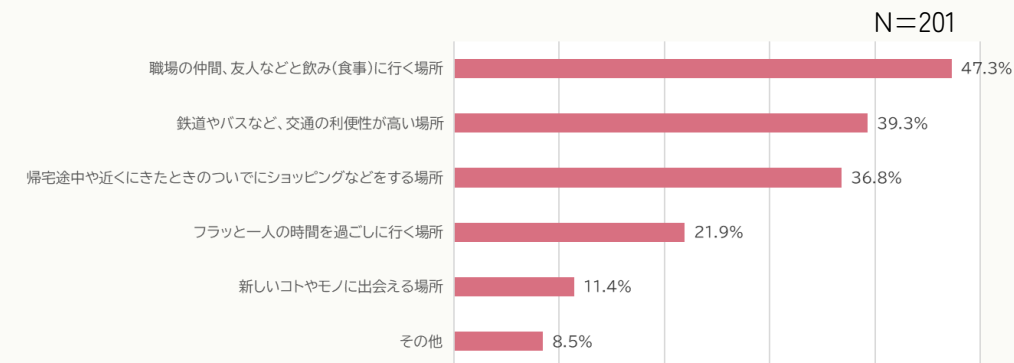
行きたくなるまち、京橋

京橋エリアのイメージ（図2）を見ると、現在は「仕事帰りに同僚と飲みに行く場所」（47.3%）や「通勤・通学で鉄道やバスを利用する場所」（39.3%）といった印象を持つ人が多いです。

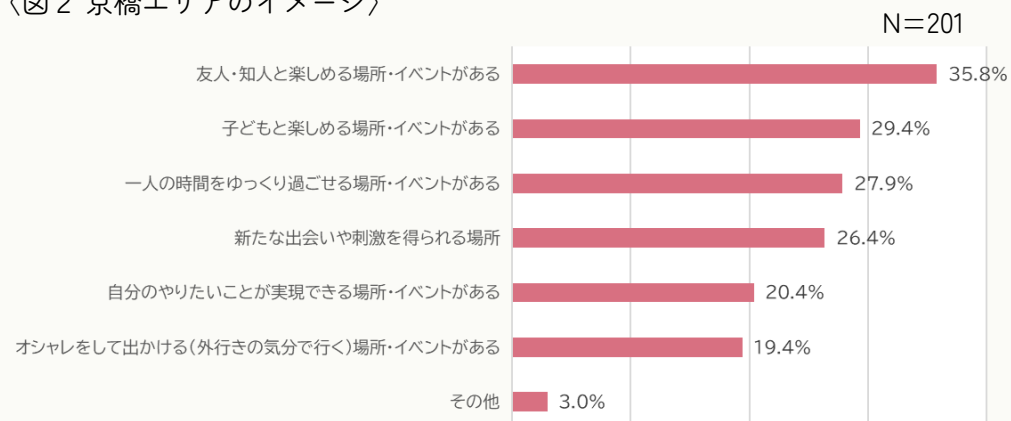
一方で、京橋エリアに足を運ぶきっかけ（図3）としては、「友人・知人と楽しめること」（35.8%）、「子どもと楽しめること」（29.4%）や「一人の時間をゆっくりすごせること」（27.9%）など、食事や交通利用にとどまらない、多様な過ごし方を求める声も多くみられました。



〈図1 京橋への来訪目的〉



〈図2 京橋エリアのイメージ〉



〈図3 来訪のきっかけになるもの〉

【発行】 都島区役所 総務課 政策企画担当

【企画・編集】 (株)地域計画建築研究所

※都島区まちづくりビジョン 2040策定に向けた調査検討業務委託 受託事業者

イベントのくわしい情報や、まちづくりビジョンに関するお知らせは、都島区公式HPやSNSをチェック！



HP



Instagram



X

次号
(Vol.3)
2026年1月
発行予定！